

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立松梅小学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和5年4月18日(火)

■ 調査の対象学年

小学校6年生児童

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査(国語、算数)

- | |
|---|
| ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。 |
| ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。 |
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定の割合で導入する。

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

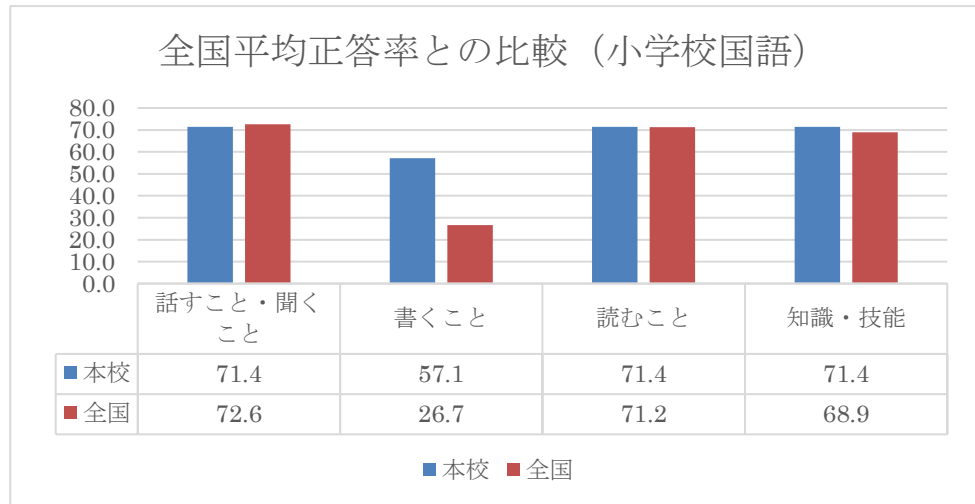
児童に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学、英語(中学校)に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の側面」であることをご理解の上、ご覧ください。

■ 調査結果及び考察

1 国語



(1) 結果

ほぼ全国平均と同等の結果でしたが、「書くこと」は全国平均正答率を上回っています。また、無解答はありませんでした。

(2) 成果と課題

今回の調査で、「書くこと」が 30.4 ポイント上回りましたが、「情報の使い方に関する事項」は全国平均正答率 63.4 ポイントに対して、本校は 50 ポイントと大きく下回っています。グラフやカードなどからの情報の読み取りはよくできていますが、たくさんの情報の中から必要なものを取捨選択したり整理したりすることに課題があります。また、児童自身も書くことに苦手意識を持っています。

また国語科の「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」の根幹をなすのは言葉の力です。普段から取り組んでいる音読や漢字の書き取り、言葉の学習などを引き続き進めながら、文章をしっかり読むことや情報の取捨選択、条件を満たした文章を書くことなど取り入れ、児童の記述力を高めることが、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の力を伸ばすことにつながります。単なる「知識」を問う問題ではなく、「思考力・判断力・表現力」を重視した問題が増えていく傾向にありますので、授業改善を通して、日々の授業で力を付けていくことが重要であると捉えています。

(3) 学力向上のための取り組み

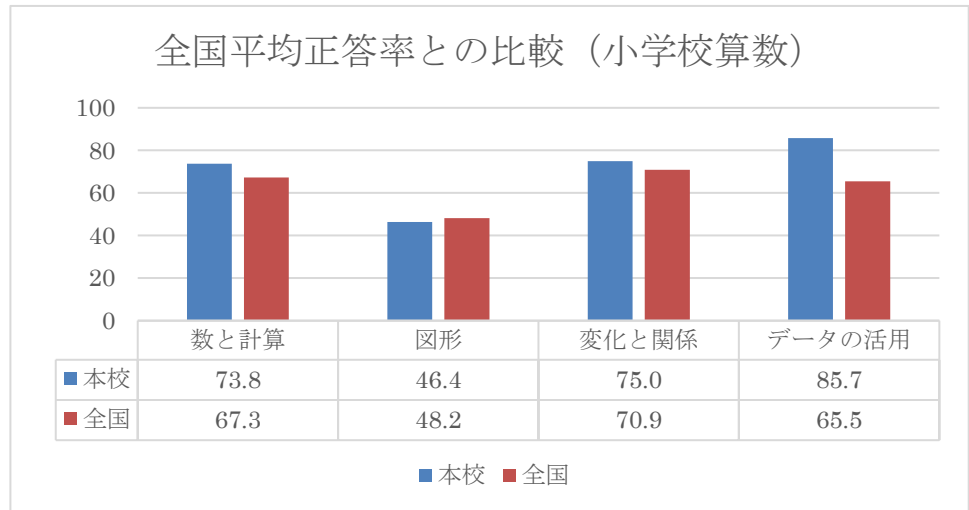
【学校では】

- 子どもが主体的に学べるように、授業の在り方を工夫すること（主体的・対話的で深い学び）で、自分の考えをもって話し合いや意見交換を行い、これまでの学びを生かしたり、自分の考えを広げたり、深く学んでいけるようにします。
- 目的や意図に応じて、自分の考えを書く機会を増やしたり、インタビューや紹介など日常生活につながる言語活動を授業場面で設定したりして、文章で表現する力を伸ばしていきます。
- 漢字の読み書き、言葉の学習等に一層力を入れるとともに、辞書を活用させ、語彙を増やします。

【ご家庭では】

- 音読を大切にしましょう。繰り返し音読することで、文の構成、言葉の意味を理解し、文節ごとにきちんと区切ってすらすら読めるようになります。文章を読み、要点や意図を捉えることは、国語科だけでなく全ての教科の学力向上に不可欠です。
- 読書を大切にしましょう。さまざまなジャンルの本を読み、いろんな表現や用語にふれることで、語彙力を高め知識の幅を広げることができます。また、文章を書く上でも文章の構成や表現の仕方などを学ぶこともできます。

2 算数



(1) 結果

ほぼ全国平均と同等の結果でした。「データの活用」は、全国平均を大きく上回っています。「図形」は、少し下回りました。また、無解答はいませんでした。

(2) 成果と課題

今回の調査では、「A 数と計算」の領域の、() を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができるかどうかをみる問題の正答率が全国平均を上回っていました。その一方、2 位数÷1 位数の筆算の各位の商の意味の説明や分配法則を用いた計算の正答率が少し下回りました。もう少し具体的に考えさせる場面を増やしていく必要があると感じています。

また、「B 図形」の領域の、高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題の正答率が全国平均を下回っていました。今後、図形の観察や操作活動などを通して、図形の意味や性質を考えることができるようにすることが重要であると捉えています。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 式から答えを出すだけでなく、絵や図、具体的場面を活用しながら、式の意味を考えさせたり、式に合う問題を作らせたり、式から生活場面を想起させたりしながら考えさせます。
- 様々な見方や考え方ができるように、授業の中で話し合う活動を取り入れていきます。また、自分の考えを、式や言葉を使って、論理的に書く機会を増やし、思考力や表現力を高め、記述力の向上に努めます。
- 朝のスキルタイムでは、学習相談において自己のふりかえりをしながら、自分のめあてを立てさせ、自分で選んだ問題等に計画的に取り組ませることで、主体的に学習に取り組む態度の育成や知識・技能の定着を図るようにします。

【ご家庭では】

- お子さんのドリルやプリント等の宿題の様子やテストをご覧になって、たくさん励ましや称賛の言葉をかけてください。
- 生活場面で、算数で学習したことを活用できると、「習ったことが生活の中で使えて、便利だな。おもしろいな。」等と算数が好きになることが多いです。「おかし分けでわり算」「料理で重さ」「お風呂で水のかさ」「買い物で暗算」「折り紙で分数」「家の中で図形探し」など、ちょっと意識するだけで、身のまわりには算数を使えるものが意外とあります。生活場面で算数を使ってみましょう。

4 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果

※「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」のうち「当てはまる」と回答した児童(生徒)の割合。

《生活習慣・自己肯定感・規範意識について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	85.7%	83.7%
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	14.3%	38.1%
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	42.9%	55.1%
自分にはよいところがあると思いますか。	57.1%	42.6%
将来の夢や目標を持っていますか。	57.1%	60.8%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	100%	75.3%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	85.7%	82.6%

起床・就寝については全国平均を下回っています。「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを大切にしていけることはとても重要です。家庭と学校で協力して、習慣化していきましょう。

自己肯定感や規範意識の項目については、肯定的な回答をした児童は全国平均並みまたは高い結果が出ています。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	28.6%	28.7%
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「3時間以上」	14.3%	11.8%
「2時間以上、3時間より少ない」	0%	13.8%
「1時間以上、2時間より少ない」	28.6%	31.5%
「30分以上、1時間より少ない」	42.9%	26.9%
「30分より少ない」	14.3%	11.4%
「全くしない」	0%	4.6%

家庭学習については全国平均とほぼ同等です。全くしない児童は0%ですが、1時間未満の児童が半分以上おり、かなり個人差が見られます。家庭学習の手引きをもとに家庭学習の意味を保護者や児童に伝えて家庭学習が習慣化するように指導をしていきます。また、自分の目標に向かって、計画を立てて家庭学習を行う習慣についても指導していきます。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 学校では、月に1回「家庭学習パワーアップ週間」を設け、自分のめあてを決めて、自主学習に取り組んでいます。お手本になる自学ノートを学年ごとに掲示することで意欲付けをしています。
- 始業前(8:05~8:15)の朝の読書の推奨をしたり、図書委員を中心に読書イベントをしたり、ボランティアによる読み聞かせをしたりするなど、読書の機会を増やすための工夫をしています。効果が現れてきているので、これからも継続していきます。

【ご家庭では】

- 「家庭学習パワーアップ週間」には朝食、起床、就寝について記入し、規則正しい生活を意識するようにしています。お子さんが自分からできたとき、少しでも向上したときを逃さず、褒めることで意識が更に高まります。
- 「松梅校家庭学習の手引き」をご覧になり、学習時間のめやすや自主学習の説明を参考に、お子さんが自分で決めて学習できるように励まし、実行・達成できた時には、ぜひ承認の言葉をかけていただけると幸いです。